ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道　乙瀬小方線　交通安全施設等整備事業に伴う
調査設計業務委託(道路詳細設計)

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	BorNo.1	調査位置	大竹市小方ヶ丘地内　(No.7+3.8　L-19.4m)			北緯	34° 13' 56.3400"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成 29年 8月 22日 ～ 29年 8月 25日	東経	132° 12' 51.7700"
調査業者名		管理技術者		照査技術者		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	38.98m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 20°	使用機種	試錐機	東邦地下工機製D-1型	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	10.00m								エンジン	ヤンマー製　NF110C型	ポンプ	東邦地下工機製　BG3型

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験(　)	掘進月日
	38.78	0.20	0.20		礫混じり砂質土	黄灰			マサ状の粗中粒砂を主体とする。 φ=5～30mmの亜角礫を混入する。														
1	37.83	0.95	1.15		玉石混じり礫質土	暗青灰			φ=10～60mmの角礫を主体とする。 φ=75～100mmの玉石を混入する。 マトリクスは粘土質砂状を示す。														
2					強風化泥質岩	暗灰			泥質岩の強風化岩(礫質土と判定)。 コアは粘土質砂礫状を主体とする。 深度2.80～3.00m間礫混じり粘土状。 岩級区分はD級の中で最も低いDL級と判定。		1.30	9	12	13	34/30	34							
											1.60												
											2.15	10	12	18	40/30	40							
											2.45												
3	35.98	1.85	3.00								3.00	50			50/10	150							
	35.28	0.70	3.70		強風化泥質岩	暗灰			泥質岩の強風化岩。 コアは硬質粘土状を示す。 清水掘削中に深度3.45m付近で送水が循環しなくなり漏水著しい。 岩級区分はD級と判定。		3.10												
										8/23 4.00	4.00	50/7			50/7	214							
4											4.07												
											5.00	50/2			50/2	750							
5											5.02												
										8/24 5.50	6.00	50/2			50/2	750							8/23
6											6.02												
											7.00	貫入不能			50/0								
7											7.00												
											8.00	50/3			50/3	500							
8											8.03												
											9.00	50/5			50/5	300							
9											9.05												
	28.98	6.30	10.00		風化泥質岩	暗灰～褐			泥質岩の風化岩。 コアは礫状～短柱状を示す。 コアにヘアークラックが発達する。 深度4.0～6.8m、短柱状が主体、ハンマの軽打にて濁音を発する。 亀裂は低角度が主体、亀裂面は褐色化している。 深度8.6m付近、厚さ3cm程度のチャートを2箇所現状に挟む。 コア形状が礫状～短柱状に不均質に変化することから岩級区分はD～CM級に細分されるが3.7～10.0m区間全体はCL級と判定。		10.00	貫入不能			50/0										8/24
10											10.00												
11																							
12																							